

会 長 稲田 春男
事 務 局 伊藤 明德
会報編集 大場 勲

TEL 025-270-9427

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://niigata-ksk.sakura.ne.jp>

青海黒姫山(12215)

登山に参加して

川島万里子

日時…9月3日(日)
コース…清水倉登山口→一本杉→金木平(水場)→山頂

(往復)

黒姫山は刈羽黒姫山に対して青海黒姫山と呼ばれています。

全山が石灰岩からなり、日本三百名山、新潟百名山に数えられています。

昔から、奴奈川姫ゆかりの地として山そのものが神体化され地元の人から崇められてきた様です

現在の登山ルートは清水倉ルートだけです。

登山口近くには電気化学工業があり今もセメントを採掘しています。

青海黒姫山は、湯沢町に住む私にとって1人で登るにはハードルが高く中々行けない山、気になる山のひとつでした。

糸魚川市役所に6時集合、

早朝に家を出発。

暑さを心配しながら清水倉

登山口を6時30分に登山開始。

良く整備された杉の植林地をしばらく歩き一本杉峠へ。

立派な杉が幾つか有りました

た金木平の水場、夏には涸れる事も！

今日は清水が出ています。

心配した暑さも平気。登山道もここからが本番。

雨に深く削られた粘土質の急登を切り切りやつと稜線へ。

黒姫山は独立峰。岩は白く雨風に浸食され鋭く尖って歩き難い。10時20分山頂に到着。

祠と一等三角点、日本海、糸魚川市街地を一望できた。

西に目を向けると拇海新道、犬が岳、白鳥山(避難小屋)

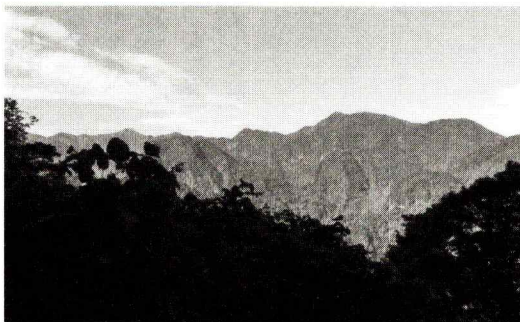
が見え、塩の道・戸倉山も見える。

山頂の石の中に化石を探す人？

みんなそれぞれ楽しんでいますが、日差しが強い為に下山開始。

帰りは来た道を慎重に戻りみんな揃って下山口へ。

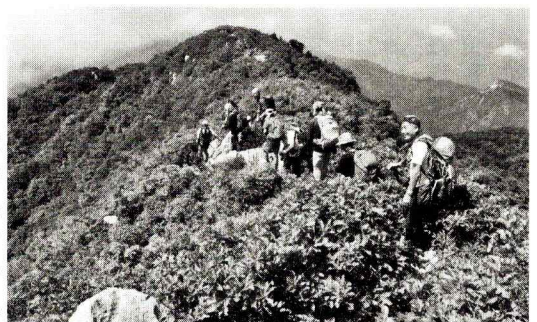
役員の方々お疲れ様でした。



拇海新道
(犬ヶ岳、白鳥山を遠望)



(青海黒姫山山頂)



(青海黒姫山付近)

WEST

OUTDOOR LIFE STORE

新潟 / 三条 / 長岡 / 上越

**特別国民体育大会
「燃ゆる感動・鹿兒島
国体」を終えて**

理事長 今井 浩一

2020年に開催予定だった鹿兒島国体は新型コロナウイルスの影響で史上初の延期となり、今年度特別国体として無事実施された。

スポーツクライミング競技は10月8日～10日の3日間、南さつま市加世田特設クライミング会場で実施された。競技を実施した3日間のうち1・2日目は荒天が予想され、競技の進行に不安を感じながら会場に足を運んだ。

しかし、リード会場はテニスやゲートポールなど屋外スポーツが雨天でも実施できる体育館。

ポルダー会場も巨大なテントで観客席まで覆われるよう会場ができていて、雨天でも問題なく競技の実施や観戦ができる素晴らしい施設であった。

新潟県はここ数年ストレート

ト参加の成年男子のみの本国体出場であったが、少年男子が見事北信越国体を突破して出場権を得たため、成年男子と少年男子の2種別の参加であった。

(成年男子)

成年男子監督 田中 勉

成年男子、田中選手、渡辺選手の二人は、少年種別の時から3回目のペア出場で、少年種別時には、リード3位の実績もあり、チームワークも最高で、ポルダー、リード併決勝進出を目指しての戦いだった。

今年の栃木国体も成年男子は、この2人で参加しましたが、ポルダー21位、リード12位と不本意な結果に終わった。

今年は、昨年の反省を生かし、直前に2人そろってジャパニア、ポルダー、リードに参戦し、心身ともに、国体モードで臨んだ。

10月8日は、ポルダー予選。第一グループ7番スタート。

早朝6時に宿を出て、1時間20分のバス移動後の7番スタートで心配しましたが、選手は、万全な状態で集中して、競技に入った。

1基2課題、第1課題、渡辺選手。思いっ切り良く、2回でトップ。

第2課題、田中選手デリケートなスラブ課題を1回でトップ。

第1課題、田中選手慎重に1回でトップ。

第2課題、渡辺選手1回でゾーンを取るが、トップならず。1基を終了時点で、3トップ、4ゾーンと上々なすべり出し。

5分レスト後、2基2課題。第3課題、渡辺選手、1回目ゾーンを取り、トップに迫るが止まらず。

田中選手、第4課題、ゾーンに手を出す、止まらず。お互い課題を変えてトライ。田中選手、3課題、1回でトップ。

渡辺選手、第4課題、ゾーン止まらず。

その後、渡辺選手、第3課題、田中選手、第4課題を集中的に攻めるが、ポイントが取れない。

タイムアップが迫る中、両選手、渾身のトライ。

渡辺選手、第3課題、残り2秒で劇的トップ。会場、割れんばかりの、大歓声。大いに盛り上げてくれた。

第1グループ8県終了時点で、2位で、決勝進出を期待させてくれましたが、最終順位は、12位で惜しくも決勝進出は、叶わなかった。

しかし、選手は、十分実力を発揮してくれたと思ってる。

10月9日は、リード予選、ポルダーの悔しさを晴らすため、二人とも気合十分。

成年男子リード予選は、時間の関係で、選手2人は、A、B別々のルートを事前に決められた順番でフラッシュ（他選手の登りを見ても良いこと）にて登る。

田中選手、Aルート5番目、何時ものリズムカルでよどみ

ない登りで、高度を延ばす。最終面手前のルーフでかなりパンプがみられるが、核心手前で、田中選手らしい、腕をふり切る如くのレストで立て直す。

核心の三角ポテ最上部のタテ取りは、渾身のヒールフックで上体を上げキヤッチ、次の左手を出す、止まらずフォロー。

渡辺選手、Bルート29番目。田中選手から十分レクチャーを受け、自信を持ってスタート。

迷いなく進み、第1核心、ルーフ内で、足先行ムーブをクリアし、右トラバースへ、悪い切り替えしで、惜しくもフォロー。

結果は、チーム成績12位で決勝進出は、叶わなかった。

リードに関しても、両選手、ミスも無く、持てる力は、全て出し切ってくれたと思ってる。

監督としては、Bルートが完登者6名（Aルート2名）で、登るルートの運がなかつ

たなど、悔し紛れに思っている。

(来年からは、成年男子も25県で、各選手2本登るので、そこは解消される。)

結果は、ボルダー、リードとも、決勝に残ることが出来なかったが、選手2名は、国

体に向けて精一杯練習し、実力を十二分に発揮してくれたと思う。

来年に向けて、益々精進してくるだろう。

最後に、遠路、会場まで応援に駆けつけてくれた、稲田

会長、今井理事長、声援が大きな力になりました。ありがとうございます。

また、常日頃から、応援、ご支援を頂いている、協会の皆様、ありがとうございます。

(少年男子)

少年男子監督 栗田 陽輔

少年男子は、昨年からの伊藤・島田の二人で、昨年は北

信越ブロック大会3位で本国体に出場できなく悔しい思い

をしたが、今年は2位でブロック大会を突破できたので鹿児島国体は決勝進出を目標に練習を重ねてきた。

10月8日は、二人の得意とするボルダー予選で競技順は20チーム中20番と最後に登場することになった。

アイソレーションに入ってから3時間ほど待機することになり、多少なりとも気も緩

みがちな待ち時間だったがそれでも二人は時間になると気合も入りボルダー競技が始まった。

オブザベでは1課題目4課題目を登り、2・3課題目は得意そうなほうを集中的にトライすることとし目標を5完登に定めた。

1・2課題目が始まり伊藤は2課題目。島田は1課題目をトライした。

オブザベで考えていたよりも流石に本国体の課題は難しく、なかなか二人とも登りきることができずにいた。

しかし何とか1課題目を伊藤が登り、続けとばかりに1

課題目を島田もトライするがゾーンまで行けずにタイムアップとなった。

5分のレストで話し合い、思ったより課題が難しいので4課題目を集中して登ることに決め3・4課題目が始まった。

伊藤が4課題目をトライしてゾーンまで行くがなかなかトップまで行けず苦戦して、3課題目をトライする。

島田もゾーンまでも厳しいなか時間ギリギリで伊藤が4課題目を登ってボルダーは終了した。

ボルダーは、島田選手が不完全燃焼だったが、伊藤選手が頑張りなんとか2完登で終了した。

10月9日リード予選。苦手なリードだったが何とかボルダーより順位を上げようと気合を入れて挑んだ。

少年男子はAルートとBルートを一人が2本フラッシュで登る形で競技が行われた。

一本目は伊藤選手が8番手でAルートを登り、18番手で島田選手がBルートを登った。

伊藤選手は少し動きが硬いものの高度を上げていき傾斜がきつくなってからの少し遠い1手でフォール。

島田選手は序盤でクリップを忘れて戻ってクリップしたがそこで力を使い果たしてフォール。

次の出番まで他の選手の登りを見て研究し、目標の高度を設定してその高度までは頑張るという二人とも気合を入れてアップし準備をした。

伊藤選手がBルートを登り順調に高度を上げていきブルークロスもしっかりクリップしてこれからという時にレストのため手を入れ替えようとしたところでフォールした。

島田選手は38番目でAルートを登り序盤は順調に高度を上げたが途中の持ちづらいつころを持ちきれずにフォールした。

リードは、目標高度までは二人とも行けずにフォール。やはりまだまだ全国レベルではないので来年に向けてリードのレベルを上げる練習が必要だと感じた。

国体に向けて練習してきたが、特にリードのレベルを上げないと決勝進出は夢のまた夢なのでオフシーズンからしっかりと取り組んでいこうと思う。

最後に遠路はるばる応援に駆けつけて大きな声援をいただいた稲田会長、今井理事長、常日頃から支援を頂いている保護者や協会の皆様、ありがとうございます。

最後に遠路はるばる応援に駆けつけて大きな声援をいただいた稲田会長、今井理事長、常日頃から支援を頂いている保護者や協会の皆様、ありがとうございます。

最後に遠路はるばる応援に駆けつけて大きな声援をいただいた稲田会長、今井理事長、常日頃から支援を頂いている保護者や協会の皆様、ありがとうございます。

最後に遠路はるばる応援に駆けつけて大きな声援をいただいた稲田会長、今井理事長、常日頃から支援を頂いている保護者や協会の皆様、ありがとうございます。

最後に遠路はるばる応援に駆けつけて大きな声援をいただいた稲田会長、今井理事長、常日頃から支援を頂いている保護者や協会の皆様、ありがとうございます。

最後に遠路はるばる応援に駆けつけて大きな声援をいただいた稲田会長、今井理事長、常日頃から支援を頂いている保護者や協会の皆様、ありがとうございます。

最後に遠路はるばる応援に駆けつけて大きな声援をいただいた稲田会長、今井理事長、常日頃から支援を頂いている保護者や協会の皆様、ありがとうございます。

最後に遠路はるばる応援に駆けつけて大きな声援をいただいた稲田会長、今井理事長、常日頃から支援を頂いている保護者や協会の皆様、ありがとうございます。

最後に遠路はるばる応援に駆けつけて大きな声援をいただいた稲田会長、今井理事長、常日頃から支援を頂いている保護者や協会の皆様、ありがとうございます。

最後に遠路はるばる応援に駆けつけて大きな声援をいただいた稲田会長、今井理事長、常日頃から支援を頂いている保護者や協会の皆様、ありがとうございます。

最後に遠路はるばる応援に駆けつけて大きな声援をいただいた稲田会長、今井理事長、常日頃から支援を頂いている保護者や協会の皆様、ありがとうございます。

最後に遠路はるばる応援に駆けつけて大きな声援をいただいた稲田会長、今井理事長、常日頃から支援を頂いている保護者や協会の皆様、ありがとうございます。



競技を終えて (少年男子)

鹿児島国体競技成績

種別	選手名	競技名	順位
成年男子	田中 修太	ボルダー競技予選	12位
	渡辺 颯海	リード競技予選	12位
少年男子	伊藤 英視	ボルダー競技予選	18位
	島田 琥鉄	リード競技予選	19位

令和5年度第1回理事会議事概要

(日 時) 令和5年9月30日(土) 午前9時～正午

(会 場) 長岡さいわいプラザ301教室

(出席者) 役員24名の内、14名出席。過半数を超え理事会成立。顧問、参与他を含む出席者21名。

1 故人への黙祷 (今井理事長)

本間一人参与のご逝去にあたり出席者全員で黙祷。

2 会長挨拶 (稲田会長)

先日頭痛がする等、体調の変化を覚えました。皆様も体調の変化には注意して下さい。

新聞で玉木さんの道迷い遭難に関する記事が掲載されていました。道迷いだけでなく体調管理に気を付けて無理をしないよう安全登山を心掛けて下さい。

3 議 題

(1) 各委員会報告

① 技術指導委員会 (堀口委員長)

事業報告、決算報告、その他報告事項について報告。

事業計画、事業予算、その他報告事項について報告。

② 遭難対策委員会 (中村委員長)

活動報告、活動計画について報告。

③ 自然保護委員会 (伊藤委員長)

自然保護研修会自然保護活動、今後の予定について報告。

④ 競技委員会 (田中委員長)

事業報告・計画について報告。

⑤ 登山普及委員会 (渡辺委員長)

上半期活動、下半期活動計画について報告。

⑥ 弥彦山たいまつ登山祭委員会 (森顧問)

事業報告、事業予定、会計について報告。

⑦ 質疑・要望

- ・10月22日の遭難対策安全登山講習会と自然保護研修会が重なっているが、同一日に行事が重なるのはいかがなものか。(遠藤(俊) 参与)
- ・今年度の調整はできないので、来年度から各委員長から集まって頂き調整して行きたい。
なお、各委員会の事業報告は参加者の数を出して頂きたい。(稲田会長)

(2) 第44回北信越国体新潟大会報告

- ・ 県山岳協会の皆様から役員としてご協力を頂き感謝御礼申し上げます。(田中委員長)
- ・ 稲田会長の指示で、色々な人から関わってもらいたいとのことから、新潟市の山岳会を中心に協力して頂き有り難うございました。5年後の開催もご協力をお願いします。(今井理事長)
- ・ 開催時期を涼しい時に出来ないか。(伊藤(直)副会長)
- ・ 本大会時期や選手強化期間に合わせると、今回の時期しかできない。
また、観客から会場に入って観戦したいとの声があったが、観客スペースが取れなかった。

(今井理事長)

(3) 第60回全日本登山大会新潟大会調査登山報告(渡辺委員長)

資料「第60回全日本登山大会新潟退会開催要領」により、概要を報告。

- ・ 参加者は150人を予定しているが最初から150人は集まらないだろう。
これまでの経験から、2次募集をかけて集まると思っていた方が良い。(森顧問)
- ・ 来年2月に千葉、10月に新潟では人は集まらないのかも知れないが、何とか集めたい。

(稲田会長)

- ・ D班の誘導隊員が4名となっているが、8名の名前が有るのは何故か。(伊藤(直)副会長)
- ・ どなたが出られるか未定なので、多めの名前を記載した。(渡辺委員長)
- ・ 要項に名前を載せる以上は、担当者の了解を事前に得てから載せるのが良いのではないか。

(中村(政)常務理事)

(4) アジア山岳連盟創立30周年記念行事協力依頼について

これまでの経緯、協力内容、県山岳協会としての方針について報告。今日の理事会で協力の有無を回答する。(今井理事長)

- ・ 県山岳協会は、たいまつ登山に関しては弥彦山岳会からの依頼を受けてたいまつ作りの人を出し、たいまつを弥彦山頂まで搬送。山頂でのお祓いの司会を行って来た。

アジア山岳連盟がたいまつ登山に参加することに対しては県山岳協会としてすることは何もない。

(森顧問)

- ・ 県山岳協会として何もすることはない。県の国際交流との連携もある。(稲田会長)
- ・ 県山岳協会の範疇を超えないということか。(遠藤(俊)参与)
- ・ その通り。アジア山岳連盟から何人くらい来るかは未定。県山岳協会としてはアジア山岳連盟の受け入れ要請を受けたいと思う。(稲田会長)
- ・ 安全に注意することを条件に受ける。県山岳協会としては登山祭のみの行事に、安全に注意することを条件に受けることとしたい。(今井理事長)

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parmark.co.jp>



食に寄り添い、心を通わす。

Alongside your cuisine and your life.

HAKKAISAN

www.hakkaisan.co.jp

(5) 板倉区旧山部小学校体育館へのリード壁設置について

- ・最近になって上越市から廃校の利用についての話が進み、旧山部小学校体育館へのリード壁設置が実現可能な状況になった。(田中委員長)
- ・関川村にもクライミング施設がある。村民は無料。村民以外は200円である。市に対してクライミング施設の設置要望を出してはいかがか。(平田顧問)
- ・技術指導委員会でもクライミング施設を利用させていただければありがたい。個人で費用を全部出すのは大変だと思う。協会としても負担はできないか。(堀口委員長)
- ・公共のものだと自由が利かない。壁は1年で1回は変える必要がある。来年の新潟カップには使いたい。(田中委員長)
- ・施設は田中さん個人、壁の所有は田中さんで利用は県山岳協会と言うことか。(遠藤(家)顧問)
- ・その通り。上越市と板倉区の振興会と協議するうえで県山岳協会から同意を得たということによろしいですか。(田中委員長)
- ・県山岳協会として上越市の施設を使わせていただくことを了解したい。(稲田会長)

(6) その他

① 新潟山のグレーディングについて

- ・ヤマテン代表の猪熊隆之氏から、グレーディングの中に気象危険度を盛り込めないか、県山岳協会理事會に提案をして頂きたいとの相談を受けた。猪熊さんは新潟に来て説明させて頂くことも可能と言われている。(中村(政)委員長)
- ・新潟山のグレーディングの制作は新潟県で、監修は新潟県山岳遭難防止対策協議会である。グレーディングの作成部署の県スポーツ課の担当者に猪熊さんからの提案について把握しているか確認したところ、猪熊さんから連絡があったとのことであった。
私から県の担当者に今後グレーディングに猪熊さんの提案を盛り込むのであれば県協議会構成団体からの意見聴取、グレーディングを制作している他県との整合性を検討する必要があるのではないかと提案した。
現在のところ猪熊さんからの情報提供と受け止めているが、県が猪熊さんの提案を検討することになった場合、県協議会の構成団体である県山岳協会にも検討の要請がくることが予想されることを補足させていただきます。(玉木副理事長)

② 杉滝岩について

- ・技術指導委員会の岩登講習会で講師を務めて頂いていた方が、講師と杉滝岩の整備が出来なくなった。今後は杉滝岩を使っている団体が集まって検討して行く。杉滝岩の管理団体に県山岳協会も関わって欲しい。杉滝岩は県外や山岳会に所属していない個人も利用者がいる。(阿部顧問)
- ・管理団体を置くと事故が起きた時に責任を問われることになりかねない。キチンとした管理者は置かない方がいい。

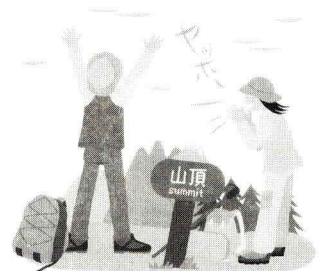
(堀口委員長)

- ・杉滝岩ほど、あれくらい安全な練習場はない。(阿部顧問)

③ 分担金の納入について (伊藤事務局長)

- ・各団体の分担金で未納があり、未納団体には督促状を出すので納入をお願いします。

以上



第2回安全登山講習会

に参加して

浅香 芳子(一般)

(期日) 10月22日(日)

(会場) 角田山(角田浜駐
車場) 此の入沢コース、角田
山、妙光寺コース、角田浜
(参加者) 24人(講師含む)

今回、私が参加したのは、
地図とコンパスは持っていた
が使い方がわからず、5月に
登った二王子岳の雪の下り
で、ガスもあり道に迷いそう
になった経験があったからで
した。

今回の講習に参加して、地
図とコンパスを使つての現在
地の把握、進行方向の確認な
ど、実際に現場で教えてもら
いながら使ってみて、大変勉
強になりました。

8時30分 受付集合。

9時 開講式。2万5千分
の1の地図をもらい、コンパ
スでの地図の整理と、自分の
進む道を定めるコンパスワー

クの講習。

全員が進行方向を指し示し
たところで、4班に分かれて
出発となった。

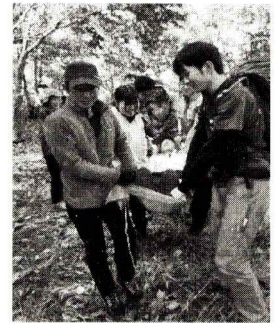
9時40分 個人で整理、コ
ンパスワークの実践をしなが
ら進む。また遭難対策委員の
新保さんから地図の見方を教
えていただく。

等高線のカーブが張り出し
ている所は尾根で、へこんで
いる所は谷であること、その
読みのもと、景色を注視する
と自分の目指す頂上の予想が
立つこと、地図から読み取れ
る情報はたくさんあることな
ど。

12時30分山頂、昼食。

13時15分集合。ツエルトの
張り方、ツエルトを使つての
ケガ人の救助の仕方(ツエル
トの端を巻いて6人で持ち、
移動する)、空のリックサック
にケガ人のお尻を乗せて、
リックの肩の位置を縛り、お
んぶの格好での移動。

もう1種類のリックサック
を使つてのおんぶの仕方を教
えて頂いた。遭難対策委員の
方々の熱を感じながら話を聞



14時下山開始。

妙光寺コースを下山する。
前日の雨で濡れていて足場
が滑る箇所や、急傾斜面が
あった。

A班の帰りの担当になった
遭難対策委員の坂場さんか
ら、地図上の長さを測り、高
度差を見れば、あとどれくら
い登るのか下るのがわかる
こと、等高線の太い線を色で
なぞっていくと標高が分か
りやすい、サツと取り出し易
く見やすくする為の地図のた
み方など教えて頂く。

妙光寺の古墳前で、委員の
玉木さんより古墳の見つた
たいわれなどの話を伺ってか
ら、全員の写真を撮った。
16時10分スタート地点に戻
る。中村委員長より挨拶があ
り解散となる。

県山協では、山岳会に加入
している人達だけではなく、
私のような一般の参加者も受
け入れ、様々なことを教えて
下さっていることはありがた
いと思う。

山を愛する人々は、一種の
同胞のような気がした。

山の良さを知っているから
こそ安全対策、元気で帰っ
てくることの大切さ、また、
救助すべき人がいた時にでき
ることを、講習を開催するこ
とで広く知らせたいという願
いがあることも感じた。

小グループに分かれての実
践は、疑問を持った時にすぐ
教えて頂けることや、参加者
が同じ目的で教え合いがで
き、親しくなれて楽しいもの
であった。

同じA班の小野寺さん、高
橋さん、寺尾さんありがとう
ございました。また、講師の
皆様大変お世話になりました。
参加してよかったです。
本当にありがとうございました。

最後に一言だけ苦言を呈さ
せてください。下山で「早

く」と言われたのですが、急
傾斜の多い滑る道に、初心者
にそう言うのは禁物ではない
でしょうか。

下山が遅くなりそうだった
かもしれませんが、今回のよ
うな下りでは安全優先で考え
てほしかったです。時間は多
少かかってでも事故なく降りた
と思います。

また、16時を過ぎての下山
も、10月の後半のこの時期、
遅いと思います。

計画通り下山開始13時がよ
かったと思います。次回のた
めに一考をお願いします。



金城山登山報告

新潟フリークライミングクラブ

大月英理香

(期 日) 11月3日(金)

(登山ルート) 観音山コース

十一月の初め、南魚沼市の金城山に登りました。

気温によっては積雪の可能性もあるため身構えていたのですが、十一月とは思えない夏日のような気温と快晴の青空でした。

ちなみに十一月上旬の平均気温を調べてみたのですが十四度でした。私は普段フリークライミングに関わっており、登山は年に数えるほどしか挑戦していません。

そのため、登山普及委員会の案内をメールでいただいた時も、「周りの皆さんのペースについていけないだろうか」という懸念がありました。

しかし、ひとまず金城山の画像をインターネットで検索してみると、ゴツゴツとした岩肌に美しい色とりどりの紅葉の写真が次々に出てきま

す。この景色を自分の目で見てみたい。自分の体力と普段の運動習慣を信じて、参加させていただくことにしました。

金城山は県立自然公園魚沼連峰に属しています。

麓には金城山を山号とする曹洞宗の寺院、雲洞庵があります。「雲洞庵の土踏んだか」という言葉をご存じでしょうか。雲洞庵で曹洞宗の禅を学ばなければ、一人前の禅僧とは言えないという意味だそうです。薬師如来を本尊とし、雲洞庵十世の北高全祝は上杉謙信や武田信玄の禅の師としても知られています。

今回は観音山コースから登頂を開始しました。平成二十三年の豪雨災害の影響で、他のコースには危険が伴う箇所もあるとのことでした。登山口にはこぶし遊歩道の門があり、地元の園児たちが遠足に来るスポットでもあります。序盤は緩い傾斜のハイキングコースで子供たちが登るのも領けます。

そこからさらに進むと東屋

があり、この日は広がる壮大な雲海を眺めることが叶いました。

序盤は五百メートルごとに標識があり、とても分かりやすかったです。途中いくつもの石仏があり、下山時には無事に帰ってこられたことを感謝してお祈りをしました。

三合目には立派な赤松がありきのこも生えていました。今回は登山のベテランである方々に囲まれて登ったことが非常に勉強になりました。

「この実はナツハゼだよ。食べられる実」「このきのこはナラタケだよ」と教えてくださり、普段は登るのに必死で目の前の植物も見余裕がないことを痛感しました。

七合目には輝くような黄金色のブナ林が広がり、傾斜も程よく景色を存分に楽しむことができました。

しかし七合目以降は山頂まで急登が続き、ついていくのに必死です。途中鎖場や危険なトラバースがありました。

が、皆さんのフォロワーのおかげで登りきることができま

た。

頂上の前に一番急な岩肌の鎖場があり、ロッククライミング感を味わうことができて嬉しかったです。

やつとの思いで金城山頂上にたどり着くと、紅葉は終わりがけでしたが露出した屏風のような岩場が荘厳な風景を作り出しています。「百間ベザイ」と呼ばれています。

目前には巻機山が広がり、素晴らしい景色でした。勇気を出して登ってよかったです。

たと心から思えた山行となりました。一緒に登っていたいた方々に感謝いたします。ありがとうございました。



今後の行事予定

第2回理事会

令和6年新年祝賀会

(期日)

令和6年1月20日(土)

(会場)

ホテルニューオータニ長岡

編集後記

今年も、酷暑が続いた年でした。

この酷暑が稲作にも多大な影響を及ぼし、高温障害によりコシヒカリの一等米比率がこれまでの最低を記録しました。原因は、地球温暖化なのでしょうか？

登山者にとっても、近年の暑さはこたえます。

しかし、暫くは高温の年が続くものと思われま

す。登山並びにスポーツクライミング競技時には、暑さ対策を工夫し、乗り切ってくださいませよう。

(大場 勲 記)